

## 犯罪の起きにくい社会づくりセミナー開催



大分県警察では、犯罪の起きにくい社会の実現を目指し、標記のセミナーを毎年開催しています。今回は、5月に新潟の女児殺害事件が発生したことを受け、登下校時の子供の安全確保のあり方について考えることを主なテーマとし、日頃から防犯CSR活動に取り組まれている企業や自主防犯ボランティア等の方々をお招きし開催しました。

当日は、子供の見守りに関し、日本文理大学人間育成センター長の高見大介助教の「我々はどう生きるべきか～目線を変える・目線を変える～」と題した講演の後、同助教をコーディネーターとしてパネルディスカッションを行いました。

主催者挨拶



講演の様子



パネルディスカッション



パネルディスカッションでは、「市民が担う安心安全な社会」と題し、企業・パトロール隊・教育機関・警察の代表者をパネリストとして、実践的な子供の見守りについて、討論しました。

来場者の方にも、押しボタン式で討論に参加していただき、ご意見をいただきました。



## 連携して子どもを見守ろう!



パネリストから活動報告や活動してみて感じたことなどが発表され、討論された結果、子どもの安全を確保するためには、企業・地域・教育機関・警察のそれぞれが独自に頑張るだけでは万全でなく、「つながり」の意識を持って連携することが非常に大切であるという結論に至りました。

そのためには、それぞれがどういったことを実践しているのか知る機会を持つことが非常に重要です。

今後、実施される様々な防犯に関するセミナーや、他団体や他機関が実施するイベントや活動に積極的に参加して情報共有を図り、それぞれが連携して、より強固な見守り活動をしましょう。

会場アンケートで「活動を活発にするために求めるものは何か。」と尋ねたところ、4割の人が「**他団体とのネットワーク支援**」と答えました!



# 特殊詐欺の最近の手口をご紹介します **不審電話編**



常に進化し続ける特殊詐欺。  
被害に遭わないためには、その手口を知ることが大切です。  
そこで今回は、警察が認知した

**特殊詐欺に発展するおそれのある不審電話**  
の内容をご紹介します！



## ケース1



もしも、消防署のものですが…

消防署の署員を名乗って、「**緊急時に備えて家族構成を教えてください。**」と個人情報を聞き出そうとします。

## ケース2



もしも、テレビ局のものですが…

テレビ局を名乗って、「**介護に関するアンケートをしています。家族構成を教えてください。**」と個人情報を聞き出そうとします。

## ケース3



もしも…

名前を名乗らずいきなり「**20万円払わないと殺すぞ。**」と脅して、お金を払わせようとしています。

依然として、

「息子の名前を名乗るもの」「警察官を名乗るもの」「市役所などの公的機関を名乗るもの」なども確認されています。

**被害に遭わないためには**〇〇〇

**安易に回答しない!すぐにお金を支払わない!**  
**家族や警察に相談しましょう!**

## 犯人と話さない環境づくりも効果的!

### 迷惑電話対策機能付きの電話機がオススメ!

大分県警察では、県内の高齢者の世帯に計1500台の迷惑電話対策機器を無償で貸し出し、効果の実証実験を行ったところ、機器を貸し出した世帯では、現時点、振り込め詐欺等の被害は1件も発生していません。また、機器を設置した世帯へのアンケートでは、9割以上の世帯で不審電話が「かからなくなった・減った」との回答があり、防犯面でとても大きな効果があることが確認されました。

**購入を検討してみてもいかがでしょうか?**

